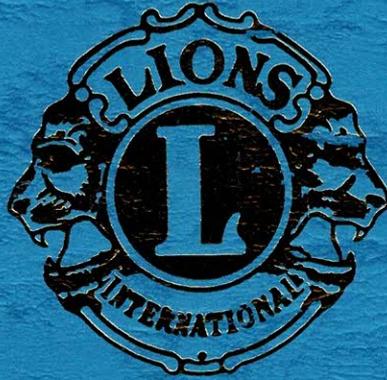


Lions

会報2

1991.6



蒲郡マリンライオンズクラブ

目 次

1) ライオンズの誓い	
2) 役員のご挨拶	1
3) アクティビティ	8
[アクト]○文化講演会(藤原てい先生)	9
○蒲郡まつり	10
○つつじ寮	11
○献血・献眼・献腎登録運動	12
○オイスカ海外研修生激励会	13
○シカゴより13名がホームステイ	14
4) 例会報告	15
5) 新入会員挨拶	29
6) 役員名簿	35
7) 事務局日誌	37
8) 出席表	43



LIONSの誓い

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety

(自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる)

モットー

We Serve

(われわれは奉仕する)

1989～90年度 **スローガン**

●国際会長●

ウィサーブ (We Serve)

●334複合地区●

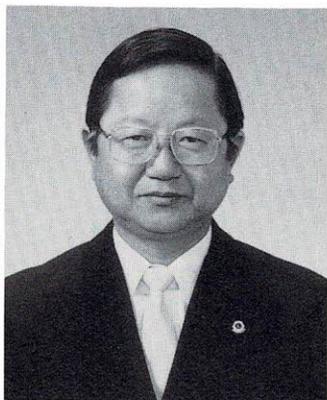
愛を惜しみなく—自然に、人間に

●334-A地区●

人に社会に世界を結ぶウィサーブ

●蒲郡マリンLC●

心さわやか ウィサーブ



会 長
L 鈴木敏允

出 会 い

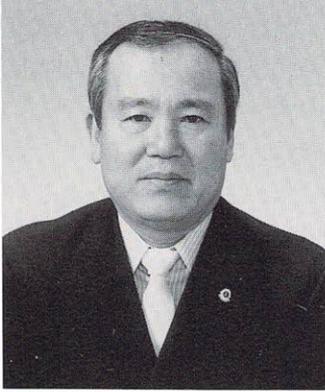
このたび、蒲郡マリンライオンズクラブ会長を退任するに当たりまして、皆様にご挨拶を申し上げます。

この一年間は、私にとりまして、貴重な経験の連続でした。また、活動を通して多くの人々と出会い、様々な物の見方、考え方に触れることができ、大変嬉しく思っています。

私は、生来、人見知りをする性格であり、少年時代は、自ら積極的に友達の中に入っていくことが苦手でした。しかし、そんな私も会社を継ぐ頃には、人との出会いがいかに大切かということを経験するようになり、人と交わる機会を多くするようになりました。そして、今では、人生の節目ごとに会った人達の導きによって、今の私があるのだと思うようになりました。一年間会長を務めさせていただいたことにより、私の人生に新しい彩りを加えることができ、皆様に深く感謝する次第です。

さて、わが蒲郡マリンライオンズクラブの基本理念は、申すまでもなく、「ウイ・サーブ」すなわち奉仕の精神です。豊かな消費社会の実現は、一方で、何でも買えるという風潮を生み、人心を荒廃させています。それを克服し、真に豊かな社会を築いていくためには、代償を求めない奉仕の精神を、より一層社会に広めていくことが必要です。私達の使命は、地域社会に対して、実際に奉仕活動を行うとともに、奉仕の精神を地域社会に根づかせることだと思えます。この大切な使命を遂行していくために、今後もメンバーの一人として、大いに頑張っていく所存です。

一年間、微力な私を心からご支援下さり、本当にありがとうございました。



幹 事
L 木村利男

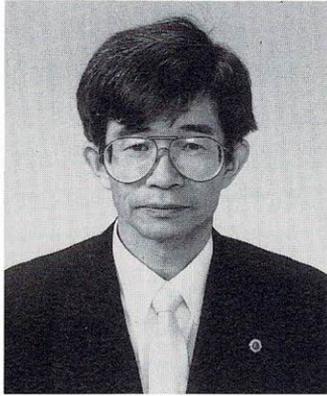
なにも分からないままに幹事という大役をお引受けして今その役目も終りに近づいてまいりましたが「終りよければすべて良し」この一年を振り返ってみますとこんな言葉が返ってくる様な一年であったと思います。思えば丁度一年前の6月に会長幹事セミナーを受けて以来会長の良き女房役又メンバー相互のパイプ役でありたいと務めてまいりましたが力不足の為想いとは相互して仲々お役に立てず今深く反省している次第です。

しかし我がマリクラブは二年目を迎え一年目より二年目というように会員相互の交友も深まると共にライオンズクラブ独自のルール等も次第に理解し例会出席もしり上りに良化し確実に一歩ずつ成長している事を感じる一年間ではありました。とりわけライオンズクラブでの大きなテーマである会員増強については発足当時の88名より今この二年目を終える丁度6月に100名という記念すべき人員に達した事は他のクラブに誇れると共にメンバー各自のクラブに対する理解と協力のたまものと会長共々深く感謝する次第であります。そしてこの時期幹事をつとめさせていただいた私自身非常に幸せ者であったとしみじみ感じます。最後にもう一度「終りよければすべて良し」の言葉をもってお礼の言葉とさせていただきます。



会 計
L 鋤柄 渡

一昨年の十月、副会計から会計への昇格の打診を受け、雑駁な私にはとても務められぬ大役と思いながら、たまたまクラブ会計必携を見たところ「まえがき」に『ライオンズクラブの財政の執行者はクラブ理事会であるがその具体的な職務は、会費の徴収は幹事、現金、預金の保管は会計、予算案の作成は財務委員会、ファインの徴収はテールツイスターというように、それぞれ分担されることになっている』とあり、恩ある故L大町一美への報恩と、現金預金の保管ぐらいなら雑駁者の私でもなんとかかなろうと、お引き受けして、初代会長L鈴木靖夫、幹事L市川 直に手を引かれ七ヵ月目、ほっとしたところへ二代目会長候補L鈴木敏允から「会計は落第だ、もう一年勉強しろ」と云われなんとか務め終えたことは会長L鈴木敏允、幹事木村利男のお導きと理事、役員のご理解とクラブメンバーの皆様に支えられて無事一年を終えました事を感謝し、御礼申し上げます。



2 R 三献推進委員
L 井沢敏雄

前会長のL鈴木靖夫が、年に3～4回行けば良いから、それに外へ行くのは君しかいないと推薦されて引き受けました。実際行ってみてとんでもない世界に顔をつっ込んだと後悔しても後のまつり、但し一年間が終ろうとしている現在、すばらしい奉仕の精神そして友人を得た事は感謝しております。去る6月11日(火)に、豊橋のはずれにある正宗寺というお寺で浅井委員主催の献眼者に対する慰霊法要に現委員長のL福沢を初めL大岩、次期委員長のL夏目と共に列席致しました。樹齢80年を越す杉、重要文化財の円山応挙の掛軸等も有る涼しい森に囲れた場所に供養塔がありました。その隣りに三重苦のヘレンケラーの、「皆さんの暖かい心で私達にもう少し明るい灯を」とある言葉にうたれました。リジヨンの15クラブの委員長、副委員長を初め三献のみんな、よくやったと思います。特に骨髓バンク金堂を得た豊橋東ライオンズクラブは会長の陣頭指揮の下で、街頭にでて、1万6千名の登録と4名の骨髓提供者を得た事は頭の下る思いです。あの寒い2月24日の農業水産祭りで一時間も行列して、献血を待つ人達の尊い姿を見て感謝、感謝の気持で一杯でした。献眼者の鳳来寺の裏の林朝治氏82才、蒲郡ライオンズ今泉氏のお父さんの守男氏74才、その顔を見てすばらしいの一言につける思いの良い表情を覚えていました。献眼献腎の成績をみるにつけ、いつも蒲郡の両クラブ共、情けない思いで一杯でした。蒲郡ライオンズクラブの登録は、15人、蒲郡マリンライオンズクラブはたったの9人、お金でのアクトも大事ですが余りに情けない思いです。蒲郡が、いかに発展しないか分るような気持です。次年度はZ CのL深津、Z C AのL野口、会長のL森の為にも、どうか全員1名の登録で、今年1,247人をこす1,280の実績になりますのでぜひ協力してと切に願う次第であります。最後にこんなすばらしい機会を与えて下さった事を感謝して私の言葉といたします。



次年度会長
L 森 桂吾

湾岸戦争も終り、歴史の歯車は闘争の時代から地球全体の協調と復興の明日へと確実に動き始めている。第二次大戦当時の「ぜいたくは敵だ」のスローガンがあった当時とは隔世の感があり、レジャーは当たり前、戦争に駆り出される心配もなくなり、地震、カミナリ、火事と肩を並べて居った親父がいなくなり、針仕事に忙しい母親像はドラマの中でしか見られなくなった。

豊かさの中で生れついた世代は、受験戦争以外には心身のきびしい鍛練の機会を若い頃殆ど持たないし、宗教の影響力が小さい日本社会では自己犠牲とか、奉仕とかの精神がなかなか育ちにくい社会環境にあり、物にしる時間にしろ豊かさの中で大切な何かが忘れ去られ様としているような気がする。

私達が人や地域社会に奉仕した時に伝ってくる生きている事の喜びと感動は「喜びは分かち合えば倍に成り、悲しみは分かち合えば半分に成る」此の真理こそ私達を社会奉仕へ精進させ、みづからの心の中に奉仕の心をはぐくむ原動力と成っているのではあるまいか。来るべき一年間に此の様な思想が一人でも多くの人に普及し、理解してもらえる様に、そして又友情は人生の中で最たる美しい人間模様であり、一生の心の財産でもあると思う、「友の憂いに我は泣き、我が喜びに友は舞う」此んな友人関係がクラブを通して色々な出会いから会員相互間により多く生れる事を期待して頑張りたいと思って居ります。

会員の皆さん方の御協力と御指導の程をお願い致します。



次年度幹事
L 市川伊嗣

次期幹事として

吾がマリクラブが誕生して3年目に入りました。メンバー数も当初の88名から100名となり、大きなクラブへと着実に前進致して居ります。この様な大切な時期に会長の女房役として又メンバーの世話役としてこの1年をどう過ごしたらよいか大きな責任の重さを感じます。5月の次期役員セミナーで、ガバナーより「楽しい例会」「明るいクラブ」運営に努力される様にとの要請がありました。分っていても中々出来ないことですが、私もこのことを第1に心掛けたいと思います。これが「ウィサーブ」を生む原点ではないでしょうか。「クラブのその年の命運は幹事によって決まる。」と言われた方がありますが、これが本当なら大変なことです。そんなことはないはずで。メンバーの方々の協力なしでは何事も達成出来ないからです。「クラブのその年の命運はメンバー各位の協力によって決まる」のではないのでしょうか。よき御指導、御鞭撻を心からお願い申し上げます。



次年度会計
L 嶋田栄治

次期会計として

5月27日名古屋都ホテルに於て次年度334A地区の3役セミナーに次期会長幹事と参加致し其の時の模様等感想を交えて綴ってみました。来賓役員事務局等百クラブ500名余の出席で全体会議が行われガバナーエレクトL今野正男が挨拶され344A地区のスローガン『人に社会に世界を結ぶウィサーブ』と発表され特に注文を付けられたのは楽しい例会(委員会理事会も含め)を実行して欲しいとの事でした。担当委員会の皆様に活発な御意見をいただき楽しい例会が行われる様お願い致します。引続き別室で会計セミナーに出席しキャビネット会計他名誉顧問L小管康正より講義を受けました。特にL小管は国際理事も務められ広い視野からのお話は非常に参考になりました。終了後懇談会が大広間で和やかに行われ6時30分頃の電車で帰蒲致しました。有意義な一日でありました。



次年度2R・2Z・ZC

L 深津六郎

今度ZCに推挙され、所詮その器ではありませんが、30年間ライオンズにお世話になりながら未だライオンズムの究極の境に程遠く、ZCをお引受けするに当り、さらにライオンズム高揚に、ウィサーブの理念に深く献身する機会を与えていただいた事に感謝しております。私が果たすべき任務は、「ライオンズ国際協会の目的」と「ライオンズ道徳綱領」に対する貢献である。長い間これに親しんできた私は単年度ではありますが責務の一端として、単位クラブはライオンズムを生活信条、人生哲学とし、クラブ同志の深い知性を結集し、アクティビティの質的向上、運営の合理化、クラブの活性化などを展開し、クラブの活動力は心の豊かさ、温かさ、楽しさを重ね合い、勇気と判断・洞察力に傾注して、メンバー個々が謙虚な態度で外部からの批判を冷静に受けとめ、クラブ間又クラブ内部の充実をめざして、心の汗を流したいと思います。輝かしい魅力一杯の2Zの将来のために、メンバー各位の協力を心よりお願い申し上げます。



次年度2R・2Z・ZCA

L 野口長務

この度、はからずもZCAという大役をおおせつかり、その器ではなく大変恐縮に存じております。

ZCAとは、ZCの補佐役でありZCは“地区ガバナーおよびRCの指導監督を受け、責任者としてゾーンの運営に当る”ことの趣旨にそって、国際協会の方針および目的を推進すると共に、ゾーン内の意志の疎通と活性化を図り、所期の目標を達成することが与えられた職責と思っております。

私自身、ZCAとして、常にZCの補佐役に徹し、その雰囲気づくりに意を注ぎ、ゾーン内の各クラブ及びクラブ間のコミュニケーションを図り、明るく楽しいゾーンになる様に努力する所存であります。

何分にも浅学非才なるものでありますからクラブ会員各位の絶大なるご指導とご支援を切にお願い致します。